

消化器内科

ヘリコバクターピロリの
3次除菌について

国吉病院

消化器内科部長

岡本博司さん



ピロリ菌除菌の成功率は、1次除菌で約70～80%で、それが失敗したときに行う2次除菌では約90%です。1次除菌と2次除菌は保険適用になっていて使う薬剤が決まっています。1次、2次ともに失敗してしま

う方が2%程度に見られるため、3次除菌が必要になりますが、現在3次除菌は保険適用がなく、定められた薬剤もありません。ヘリコバクター学会の除菌療法ガイドライン2009年版では、PPIという種類の胃

薬ニアモキシシリンとレボフロキサシンという抗生剤の投与という方法、高用量のPPIニアモキシシリンという抗生剤の2週間投与という方法が3次除菌として推奨されています。最近ではレボフロキサシンを、同じ系統の新しい薬のシタフロキサシンに変更して投与する方法も、効果的な治療法であると報告されています。3次除菌は自費診療となるため、希望される方は事前に医療機関に問い合わせをされることをお勧め致します。

国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科 他